向ヶ岡弥生町

News Letter

VOL.10　2014 年 10 月 1 日発行

発掘調査の公開　小泉好延氏（武蔵野文化材修復研究所）による解説（2001 年 8 月 3 日）

東京大学浅野地区　工学部武田先端知ビル地点の調査 （2001 年）

東京大学浅野地区 工学部武田先端知ビル建設予定地の発掘調査は2001年6月4日～8月7日、11 月 28 日～12 月 28 日に行いました。7 月 12・19・24 日、8 月 3 日に発掘調査の公開を行い延べ 400 名の参加がありました。12 月 15 日、東京大学弥生地区弥生講堂で開催された第 3 回考古科学シンポジウムでは発掘調査の成果と発掘調査を公開しました。12 月 19 日には方形周溝墓の保存作業を公開しました。

発掘調査で検出した方形周溝墓は、水戸藩駒込邸を南北に縦断する道もしくは、警視庁（警視局）射的場関連施設によって上面が削経された事が明らかになりました。方形周溝墓から弥生土器と副葬品のガラス小玉・管玉、射的場関連施設から小銃の弾丸が出土しました。この他、浅野侯爵別邸の基礎を検出しました。方形周溝墓は弥生時代・古墳時代初期に見られる墓で、墓域を溝で方形に区画し、掘削土を区画内に盛り、中に 1 基から数基の墓穴があります。武田先端知ビルの方形周溝墓は 6m四方、墓穴は 1 基でした。集団墓を構成するものが多く、武田先端知ビルでは 2 基、農学部圃場で 2 基を検出しています。工学部風工学実験室北側の道路には 1 基が保存されています。方形周溝墓は農学部圃場から浅野地区、不忍池までのびる谷で検出しました。

昭和 50 年（1975）、工学部 9 号館の東側で町内の小学生が弥生土器を発見したことから東京大学文学部、人類学教室によって発掘調査が行われ弥生時代の集落を取り囲む溝（環濠）と貝塚が確認され弥生土器が出土しました。弥生土器の名称由来となった土器の発見場所と推定されたことから、昭和 50 年（1975）国の史跡に指定されました。方形周溝墓の検出によって、浅野地区の高台に弥生時代の集落が位置し、低地の谷に墓が連なるという弥生時代の景観が明らかになりました。方形周溝墓は弥生時代名称発祥の地の遺構

ということから、表面の土を剥ぎ取り移築、土器は展示できるように修復しました。ガラス小玉は東京大学総合研究博物館タンデム加速器分析室で材質分析を行いました。研究成果は、東京大学埋蔵文化財調査室 2009『東京大学埋蔵文化財調査室発掘調査報告書 9　東京大学本郷構内の遺跡　浅野地区Ⅰ　工学部武田先端知ビル地点』にまとめました。2011 年 4 月 29 日～6 月 26 日に東京大学総合研究博物館で開催された特別展示「弥生誌　向岡記碑をめぐって」では発掘調査の成果と方形周溝墓、弥生土器、関連学問分野の展示を行いました。

現在の向ヶ岡弥生町と遺跡（カシミール 3D で作成）、国土地理院新版 1/2500 に加筆、弥生二丁目遺跡の位置は訂正

講演会　弥生時代のガラス小玉（2001 年 8 月 3 日）

方形周溝墓の移築（2001 年 12 月 17 日）

発掘調査の公開（2001 年 8 月 3 日）

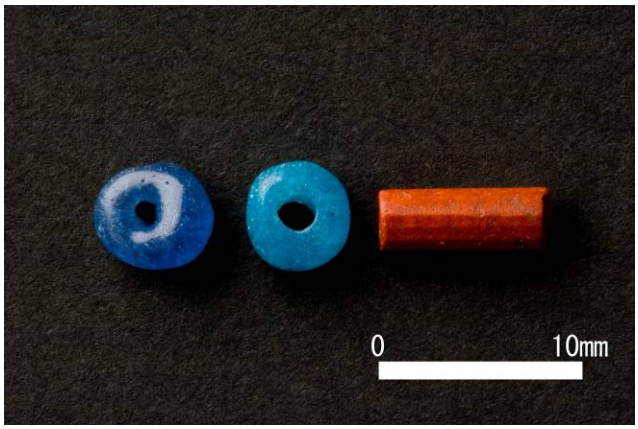
方形周溝墓移築の公開（2001 年 12 月 19 日）

方形周溝墓のジオラマ　右は復元

方形周溝墓

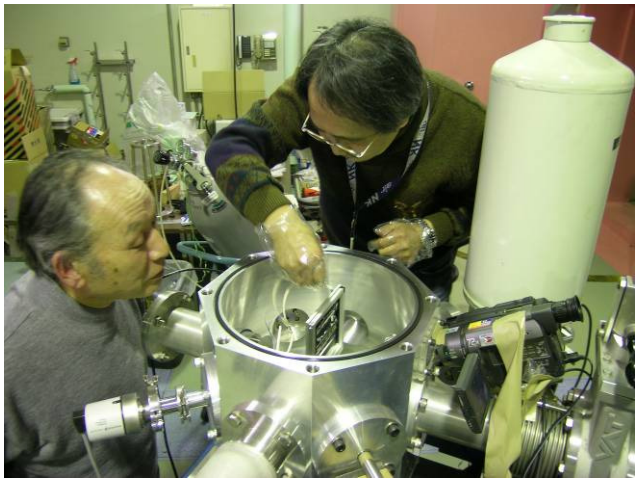
東京大学浅野地区出土弥生土器 （修復：武蔵野文化財修復研究所・府中工房）

土器の修復

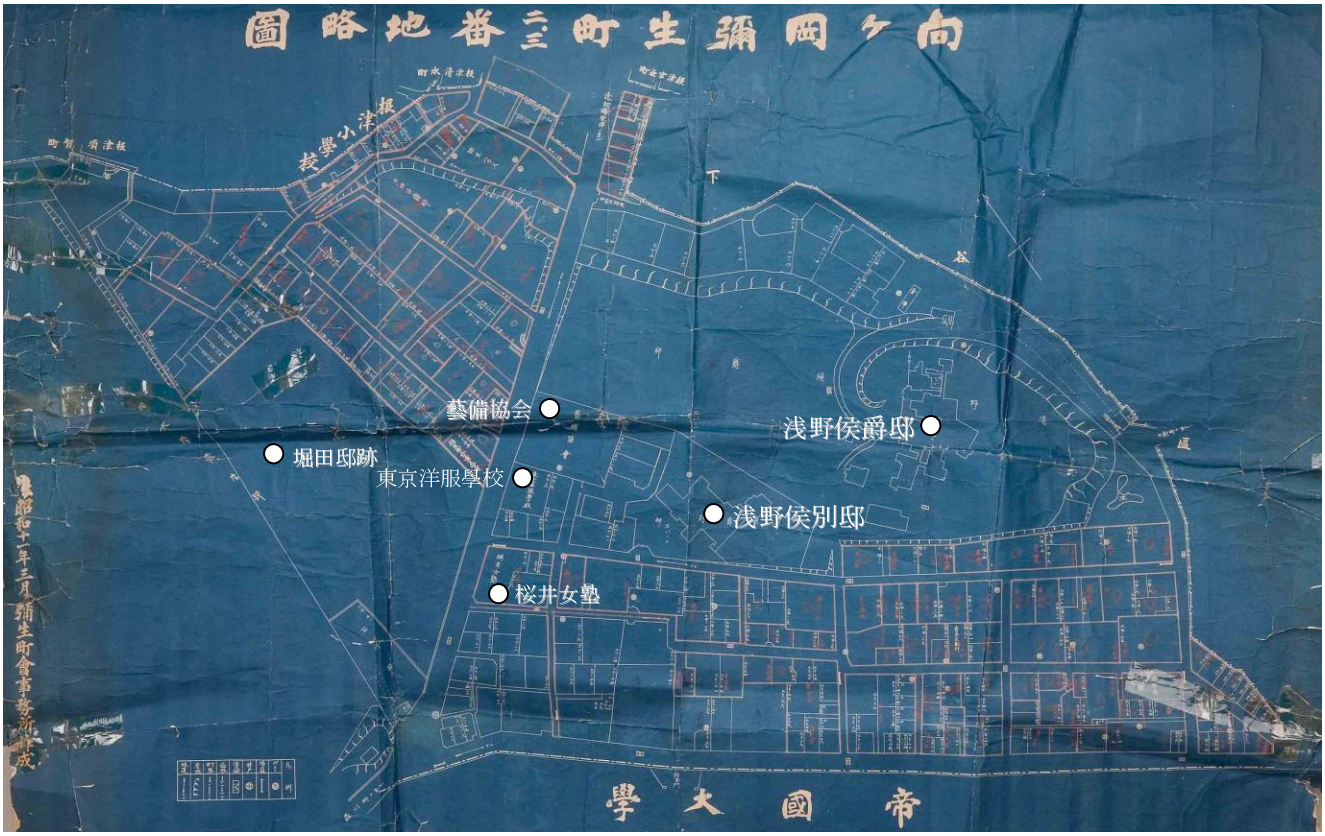


遺体の埋葬施設から出土したガラス小玉・管玉

方形周溝墓の展示　東京大学総合研究博物館



東京大学総合研究博物館タンデム加速器分析室



『向ヶ岡彌生町二、三番地略圖』 昭和 11 年 3 月彌生町會事務所作成（青木家文書）

『向ヶ岡彌生町二、三番地略圖』は昭和 11 年（1936）彌生町會事務所の作成で青木誠さんが所蔵していた図面です。言問い通り沿いに芸備協会、東京洋服學校、桜井女塾があります。北側の空地は堀田邸跡です。現在の浅野地区に浅野侯爵邸と浅野侯爵別邸、邸内の東側に使用人などの屋敷が配置されています。言問い通り北側の空地は堀田邸跡です。浅野侯爵邸は大正 12 年（1923）の関東大震災で客間の破損で済みましたが、別邸は大きな被害を受けたことが別邸の図面と発掘調査から確認されました。震災後に増築された別邸の基礎が発掘調査で検出しました。浅野家は明治 20 年（1887）～昭和 16 年（1941）まで向ヶ岡弥生町に邸宅を構えました。青木さんの所蔵していた明治時代以降の浅野家関連資料は文京ふるさと歴史館へ寄贈され分析が行われています。

検出した場所に方形周溝墓を実物大で示しています、柱に研究成果を掲示しています（浅野地区　工学部武田先端知ビル）

編集後記

今号は 10 号記念号です。町会、浅野さんにお世話になるきっかけになった工学部武田先端知ビルの弥生時代の遺跡を取り上げました。懐かしい方々が写っているかもしれません。ニュースレターの発行は東日本大震災がきっかけでした。東京都では津波や火災、放射能によってコミュニティーのなくなることはありませんでしたが、被災地の報道を見て、町の歴史を残し住んでいる方々に伝えなければ、と思いました。原稿、写真は揃っており、問題の印刷費も何とかなったので発行できました。今後もよろしくお願いします。

向ヶ岡弥生町
News Letter
VOL.10　2014 年 10 月 1 日発行

発行　原　祐一
連絡先　〒153-8904
東京都目黒区駒場 4-6-1　東京大学埋蔵文化財調査
携帯　080-5504-9782
メール　y-hara@dolphin.ocn.ne.jp
印刷　株式会社　芳文社
〒194-0037
東京都町田市木曽西 2-3-14　電話　042-792-3100